

# まちがいさがし クイズ



上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてください。

とうふねこ座：市川雅子 画

### 応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)・②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり8月号に掲載しますので、ご了承ください。

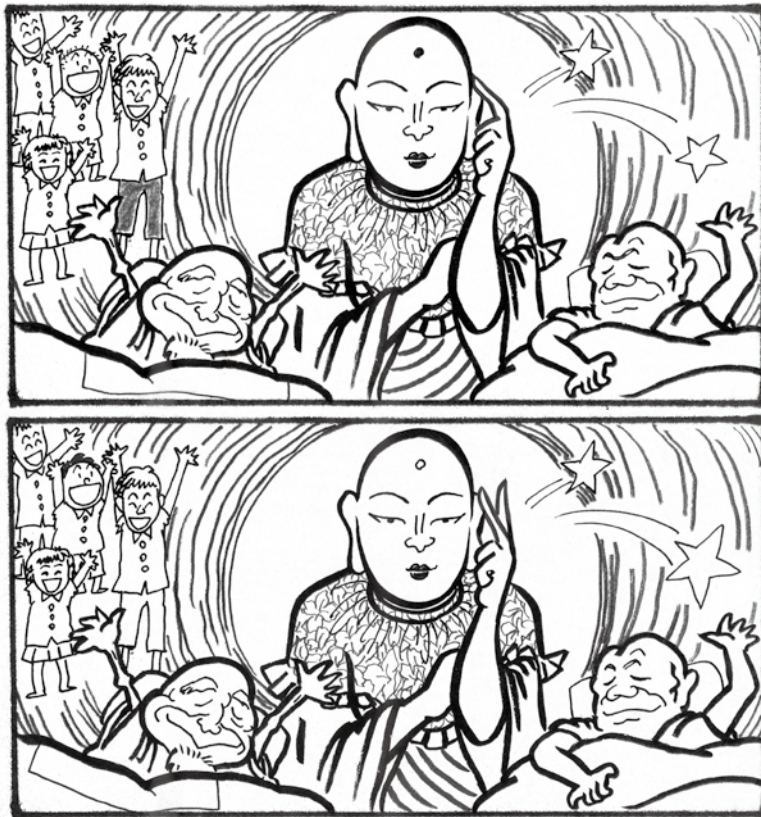
### 送り先

〒443-8601 旭町17-1  
企画広報課「クイズ」係  
FAX66♦1190

応募締切 6月17日(月)

### プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。



### 「若者地蔵」(拾石町)

明治の中頃、草木も眠る丑三つ時、月の灯りが一段と怪しくかやきたすと、委空寺(いこうじ)の和尚様が眠っている襦が音もななく開いた。

「うん・うん・うん・うん」  
「だれじゃ、そこにおるのは？」和尚様が布団から起き上がる。暗闇の中から白い顔が浮かび上がった。

「だれだ!?!ん?あ・あなたは…もしかして・延命地蔵様じゃないですか?こつしたのですか?こんな夜中に、何かお困りのようですが…」

「ああ、和尚、小江では皆が仏の話聞いてくれた。そのおかげでこゝでは化縁(けえん)が終わったようじゃ。嬉しい事だがこれからこつしたものが考えているのじゃ」和尚様とお地蔵様が縁側に座ってきえていると、青白い月の光のまやの中から誰かが近づいて来た。

「ありや、こはどいじゃ、そちらに居るのは委空寺の和尚様ではないですか?」  
「おおっ!あなたは法性院(ほっしょういん)の和尚様!こんなごまごつしたんですか?」

「ははは、布団の中で寝ていたはずなのに、気づいたらここにいたんですよ。おや、そちらに居るのは、延命地蔵様!相変わらず美しいですねえ」

「!!セウじゃ、拾石の若者はまじめで実直だと聞く。私、これから法性院にいき化縁を広めたい。のう、法性院の和尚、私は化粧地蔵とも言われ、人々の病氣・災難を引き受けておる。私を祀れば、村の若者を守ってやるぞ」それはそれはありがたいことじゃ」

3人がこつりとほほ笑むと、月から延びるもやが3人を包んでいった。

ハッと夢から覚めると朝。2人の和尚様は夢が気になりお互いの寺へ向かって歩いていくと、油井が浜でハタタリ出会った。2人も同じ夢を見た不思議を話し、延命地蔵様は法性院に祀られたということだ。

延命地蔵様は土で作られ白い漆喰(しっくい)で化粧されている。切れ長の眉と目、赤い口紅がひかれて美しい。村人はこれらを担う若者・子ども達を守ってくれるように、「若」の字を瓦につけたので、若者地蔵とも呼ばれている。

昔は祭りの時、村の若者達がお地蔵様をまねて化粧をして踊りを踊った村の出来事の絵を展示した。現在も福引・だんご・金魚すくいなど、地域一体となってぎやかに行われている。

(参考資料)「歳時習俗事典」著者・宮本常一  
「化粧にみる日本文化」著者・平松隆円

拾石村誌 塩津村誌

4月号クイズまちがいさがし(竹島弁天さま)の当選者

応募総数63通

正解者49人

当選者(敬称略・50音順)

- 形原町 石川心菜
  - 宝町 井端雅俊
  - 丸山町 岩瀬彰子
  - 水竹町 古賀国彦
  - 形原町 佐藤由実
  - 緑町 鈴木富夫
  - 形原町 竹内悠瑛
  - 宝町 長坂 博
  - 三谷町 仲村 一郎
  - 中央本町 龍頭正幸
- おめでとございます。賞品は6月初旬に発送します。

### ◆4月号の答え

